

担当課・室	会場	ご意見の要旨	市長の回答	対応状況
建設課	牛窓	・中浦(牛窓町牛窓)の港における沈没船が増えている。今後さらに沈没船が増えたと、港が埋まっていき、河川の排水に影響が出る状況が想定される。現行の法律などでは簡単に撤去できないことは分かっているが、沈没船が増えないように対策を検討していくべきではないか。 ・中浦の港に停泊している船に停泊料を取ってはどうか。	・毎年、市の担当部局が県民局へ要望を行っている。要望の優先順位の一番高いところへこの問題をあげている。漁協からの要望として、漁協の裏を埋め立て、係留している船をどこかへ移すという案が出ている。船を停泊させる場所が絶対的に不足している。また、浚渫(しゅんせつ)しようとする、護岸工事も必要となるため、具体的な設計をしていかないと、すぐには対応できない。どういう方策があるか、県にも検討してもらっている。 ・停泊料などをいただくというの一つの方法であるが、そのためにはそれなりの整備が必要であると思う。その辺も含めて漁協と相談しながら検討していく。	・中浦の沈没船や土砂の堆積については、現在岡山市において、対策を検討しているところで。
福祉課、関係各課	牛窓	・耳が聞こえにくい高齢者や聴覚障害者のための言語条例などを制定する考えはないか。 ・条例以前に市民病院などにあるテレビについて、文字放送の設定にすることなどからしているのはどうか。	・条例制定について、市として、ぜひやりたいと思っている。聞こえの問題だけではなく、それ以外の障害に対してもどう対応していくということも一緒に考えた方がいいか、担当の方で検討している。また、どのような講演会であれば、手話や要約筆記の方などをつつけないといけないかというルールがないため、今後ルールを決めていきたいと考えている。 ・テレビについて、病院も含めて、市全体で対応を検討していきたい。	(福祉課) ・手話言語条例の制定については、聴覚障害者の福祉施策として、手話等の理解及び普及を図り、手話などが言語として日常的に使える地域社会の構築と「ろう者」と「ろう者以外の人」が共生できるまちづくりを推進するため、制定に向けて関係者のご意見を伺いながら進めていきたいと考えています。なお、平成29年4月1日に差別解消法に基づく、「不当な差別的取扱い」や「合理的配慮」の具体例を掲載した市職員対応要領及び留意事項を策定しています。
総務学務課、学校給食調理場	牛窓	・学校給食において、食物アレルギーを持つ子どもへ今後どのような対応をしていくのか。また、学校へ毎年提出するアレルギーに関する(医師が発行する)書類の費用を抑えられないか。	・アレルギー以外でも治療証明書などの書類の費用を抑えられないか、教育委員会に聞いてみる。	(総務学務課) ・アレルギー対応については、子どもたちの命に関わる問題のため、県や市のアレルギー対応マニュアルにより、学校生活管理指導表の提出を求めるようになっています。また、インフルエンザなどの治療証明書は、感染症の蔓延を防ぐために提出していただいています。これらの証明書に係る費用は、各医療機関の判断によるものが大きく、市が一律に負担するのは難しいと考えています。子どもの安全安心のため、ご理解とご協力をお願いします。 (学校給食調理場) ・学校給食においては、今まで同様に給食献立予定表を作成し、主な材料を記載しています。アレルギーを持つ子どもの保護者に対しては、必要があればもっと詳しく成分を記載した詳細献立表を配布します。代替食、除去食については、調理員の人員不足・調理場の面積的な課題があり、対応は難しいと考えています。
総務学務課	牛窓	・中学校部活動の顧問の先生の負担が大きいことや学校外のコーチについてどうお考えか。	・教育委員会と話をしてみる。教員の負担軽減のための人材を配置していく必要があるが、事故時の責任や対応など適した人材に関わってもらいたい。小学校では35人学級にするために、講師を雇っている。中学校においても教員の負担軽減について何ができるか、財政的にどれだけ許されるか、検討していきたい。	・中学校の先生をはじめとする教職員の勤務負担軽減については、「働き方改革」として、県の指導のもと市教育委員会でも取り組んでいるところです。その中で中学校の部活動については、本年度9月から、平日に1日、土日のうちどちらか1日を部活のない日と定めたところです(大会直前などは例外)。また、県の事業である部活動支援員などの外部コーチなどについては、学校と相談し、実技だけでなく教育的な立場も考えながらコーチを採用しているところです。今後、部活動の充実、教職員の負担軽減、財政面とを考慮しながら検討していきたいと考えています。
建設課	牛窓	・尾張の交差点において、雨天時に小学生が傘を差しながらの横断、車がその間をすり抜けていくのが危険。市としてどう対応するのか。	・立ち退きなどが関係するため、交差点の改良には、相当費用がかかる。課題として認識している。県道になるため、県と検討していきたい。	・尾張交差点については、岡山市の道路部局に交通安全対策を要望します。
福祉課	牛窓	・ゆめトピア長船のトイレで、子どもを座らせる補助いすがない。	(保健福祉部長) ・子どもの補助いすは2階の多機能トイレに設置してあるが、分かりにくいとの声だったので、分かりやすくするように検討する。 (市長) ・本庁においても洋式トイレがどこか分からないという声があったので、現在はトイレの前に洋式トイレの場所をサインで示している。	・ゆめトピア長船の1階障害者用のトイレ内に子ども用補助いすがないため、新たに設置することを検討中です。